



としょかんししょ ミドリちゃんのおすすめ本



その2 「かえるがいっぱい♪」

こんかいの
おすすめは・・・



『あまがえるのかくれんぼ』(えほん)
たてのひろし／文 かわしまはるこ／絵
世界文化社. 2019



<あらすじ>

あまがえるのラッタ、チモ、アルノーがかくれんぼをしてあそんでいると、からだのいろがだんだんくろっぽくなってきてしまいました。「いろが とれないよ。 どうしよう」となきだすさんびき。するとそこへ、おなかをすかせたさぎが、たべものをさがしにやってきて…。

(保護者の方へ)

陸にあがったばかりの、なにも知らないアマガエルが、仲間といっしょにピンチをのりこえ、自分たちの成長を感じ、自信をつけて、世界にとびだしていく。作者のかわしまはるこさんの細密かつみずみずしいタッチで描かれたこの絵本は、アマガエルの生態を知ることができる本であると同時に、こども自身の成長と重ねながらよむこともできます。無表情ながら、どこか愛らしく、とてもいきいきとしたアマガエルたちといっしょに、わくわくする冒険にでかけてみませんか？梅雨どきにぴったりの1冊をどうぞ。

わたしも かえるに
あってみたいな♪

<そのほかのおすすめ>

- ・『オタマジャクシのうんどうかい』(ものがたりの本)
作／阿部夏丸 絵／村上康成. 講談社. 2002
- ・『どれみふあけろけろ』(ものがたりの本)
作／東 君平. あかね書房. 1981

